

質問日 令和2年6月17日（水）

質問順位 6 菅野 博子 （一問一答式）

1 コロナ対策

(1) 本市の小・中学校のコロナ対策について

令和2年5月28日の報道で、学校の休校について、日本小児科学会が「感染防止効果は乏しい一方、子どもの心身に及ぼすデメリットが大きい。」と報じた。学校で子どもが感染源となった集団感染はほとんどなく、親から感染したケースが大半と指摘された。同じ日の夜のニュースでは、北九州市、東京都、岩見沢市など、クラスターの発生が報じられた。新しい情報が出る中、今後の市民への対応を問う。

(2) 公立小・中学校への教員の加配について

今回遅れた授業を取り戻すため、加配教員や学習指導員の有効な配置、オンライン学習の環境整備、家庭学習支援、学力格差拡大の不安に応えることなど、具体的な対応を問う。

(3) 妊婦が感染した場合は、一般患者より数倍の医療関係者の協力が必要となる。母子の命と医療体制を守るため、妊婦がPCR検査を受けられる様、施策の前進をすべきではないか。

(4) 会計年度任用職員にも、10割の給料補償をすべきではないか。

(5) 「アベノマスク」の本市の配布状況と、「市民の声」をどう聞いているか伺う。

(6) 生活困窮者に住宅を

東京都がビジネスホテルを確保して、住居のない人に一時宿泊所としての提供が報じられた。本市においても、住宅のない人への個室の提供、継続的な生活、法律相談の実施、ビジネスホテル滞在中に一人10万円の特別定額給付金の受取の対応、生活保護など積極的な周知をすべきではないか。

(7) 五輪費用を減らし、コロナ禍支援を

新型コロナの影響で、東京オリンピック・パラリンピックが延期され、そのための追加経費に意見が出されている。総額の見積りは、3,000億円程度。うち、国際オリンピック委員会（IOC）の負担が856億円。費用のほとんどを日本側が負担することになる。コロナでは、全国でも多岐にわたり影響が出ている。国土交通省はコロナ対応で賃料減額や免除に応じた家主側に固定資産税を減らすなど、特例措置を設けた。収入が激減した事業者へ市からの積極的な周知で、営業を守る施策をすべきではないか。

質問順位 7 金澤 孝太郎 (一括質問・一括答弁式)

1 市長政策行政

- (1) 公共施設へPPP・PFI等官民連携事業の導入について
 - ア 本市の公共施設等の更新に向けた課題・問題点等について
 - イ 本市におけるPPP・PFI等の民間活力導入のメリット・デメリットについて
 - ウ PPP・PFI等の導入に向けて、職員の理解力向上の取組について
 - エ 本市のPPP・PFI等官民連携事業導入に向けた方向性について
- (2) 令和2年度新規事業 鴻巣地区複合施設整備研究事業について
 - ア 中央公民館エリア再編のワークショップの成果と要望等について
 - イ 中央公民館エリア再編研究事業で解った問題点・課題等について
 - ウ 中央公民館エリアと第二庁舎跡の再編にPPP・PFI等による民間事業者参画の可能性について
 - エ 鴻巣地区複合施設整備研究事業の方向性について

2 都市建設行政

- (1) 街路樹の適正管理とあり方について
 - ア 街路樹の種類、育成年数、剪定方法、剪定頻度等について
 - イ 交通安全や防災の視点で捉えた場合の街路樹の機能・役割・必要性について
 - ウ 本市の「街路樹管理マニュアル」等の策定について

質問順位 8 加藤 久子 (一問一答式)

1 新型コロナウイルスの影響による対応について

- (1) 特別職(市長・副市長・教育長・議員)の期末手当の条例改正について

2 環境経済行政

- (1) 新ごみ処理施設について
 - ア 白紙解消したその後の動きについて

3 教育行政

- (1) 通学区の見直しについて
 - ア 吹上小・大芦小学校の通学区の見直しについて
 - イ 笠原小学校の通学区について
- (2) 吹上小・大芦小・小谷小学校の適正配置について
- (3) 通学路の整備について

- (4) 公共施設の使用料及び利用料について
 - ア 公民館・生涯学習センターの使用料の減免について
 - イ 多目的グラウンド65歳以上の利用料の免除について
 - ウ 川里グラウンドゴルフ場の無料化について

4 児童虐待について

- (1) 本市の児童虐待の実態について
 - ア 過去における児童虐待の実態について
 - イ 新型コロナウイルスの影響による児童虐待の実態について
- (2) 「子どもを守る環境日本一」を宣言都市にすることについて

質問順位 9 織田 京子 (一問一答式)

1 教育行政

- (1) 休業中の家庭学習の評価について
 - ア オンライン授業について
 - イ 各中学校、受験生への対応はどうであったか
- (2) 今後の感染対策と授業の両立について
 - ア 音楽、歌唱指導は
 - イ 家庭科は
 - ウ 体育の授業は
 - エ 運動系の部活は
- (3) 小中学校と市内にある塾の連携について
 - ア 「鴻巣市大学生学習ボランティア」は、平成30年から31年まで募集していたが、その結果はどうであったか。集まった人数・生徒の感想等
 - イ 成果について
 - ウ 市内の塾の協力を仰ぐことは
例. 東京都瑞穂町
- (4) 新学習指導要領の中の「AYA世代」のがん教育について
 - ア 本市の中学校では保健体育の授業に取り入れているか
 - イ 取り入れているのなら、その内容について
 - ウ がんの罹患率は20代から50代前半が多い。がんの早期発見のために中学生からのがん教育をどう考えるか

2 都市建設行政

- (1) 道路の補修・改修について
 - ア 工事の時の職員の役割は
 - イ 立会いの有無は

- ウ 完了時の点検は
- エ 過去にやり直しなどの例はあるか
- オ 廃止になった横断歩道の復活は